

# 総括 質疑

3月定例会では、予算審査常任委員会において各党派の代表が、平成31年度予算について一問一答方式による質疑を行いました。

(予算審査常任委員会小委員会での審査)



## 福祉

小原 明大

日本共産党

**問** 済生会京都府病院が地域の基幹病院として、よりよい医療を提供することが重要である。そのため移転に関して市が支援を行うことは必要だが、ルールを作って支出されるのか。  
**答** イニシャルコストや不採算部門への補助は、医療ビジョンで求める機能の確保が支出の評価基準となる。また、いろいろな目標や指標を作り、インセンティブを持たせた形で運営補助を行っていく。



## 福祉

寺嶋 智美

平成市民クラブ

**問** 災害時、指定避難所においては、必要であれば福祉避難所が設置されると聞く。設置にあたっての基準などはあるのか。  
**答** 福祉避難所は、一般の指定避難所での避難生活が困難な要配慮者で、特別な配慮を必要とする人のための二次的な避難所である。開設にあたっては、二次災害に対する安全性を確認の上、施設管理者の同意を得て開設することとしている。



## 行財政

白石 多津子

平成西山クラブ

**問** 4月から男女共同参画センターが新設される。新センターが本市の男女共同参画の拠点施設としてアピールできるよい機会になると思うが、今後どのように施策展開を図るのか。  
**答** 男女共同参画というくりの中からは、従来からの女性支援施策に加え、男性や子どもにとっての男女共同参画、性の多様性など、さまざまな方面から総合的にアプローチをした施策展開をしていきたい。



## 福祉

住田 初恵

日本共産党

**問** 公立保育所民営化の進め方に関して、児童対策審議会の方針が出され、神足保育所に決まったということだが、保護者は納得できないと考えるが、どう対応していくのか。  
**答** 児童対策審議会の会議内容も、答申結果もその都度公表している。しかし、まだまだ保護者の不安や戸惑いが、解消できていないことは認識している。今後も引き続き説明を重ねていきたい。



## 公共施設

浜野 利夫

日本共産党

**問** 新庁舎の基本計画で、庁舎の機能における基本方針のなかに、「誰もが利用しやすい庁舎」とある。これが一番大事だと思うが市の考えは。  
**答** 新庁舎の基本方針は6つあり、一つ一つ切り分けた方針ではなく、いくつかが重複するものである。市役所は、各種手続きや相談の他に、気軽に情報に触れる場所であり、これから求められる庁舎の機能を計画で示し、設計案として進めている。



## 地域振興

中小路 貴司

平成市民クラブ

**問** 大河ドラマに関連したシンポジウムや、市民向け講座などを計画していると思うが、どのようなスケジュールを考えているのか。  
**答** 6月には、キックオフイベントとしてのシンポジウム、11月と12月には、それぞれ講演会を開催する予定である。また、年度末には、メインスポットとなる勝龍寺城の重要性や魅力についての解説を加えた資料集を編さんし、販売する予定である。



## 福祉

上村 真造

平成西山クラブ

**問** 済生会京都府病院の新築移転に関して、地域医療ビジョンの中では、済生会に対して、乙訓休日応急診療所とのさらなる連携強化を求めている。現在の協議の状況はどうか。  
**答** 医療の拠点となることを期待し、新病院の敷地内に乙訓休日応急診療所を併設する方向で協議、調整を進めている。さらに、併設の際、診療所が乙訓医師会の施設との複合施設となるよう協議を重ねている。



## 福祉

西條 利洋

### 日本維新の会と市民派の会

**問** 仮に幼児教育無償化が導入され、給食費を負担しなければならぬ状況になれば、実質的な負担が無償化導入前後で増えるおそれがある。所得が低い方には、給食費の援助などが必要と考えるが市の見解は。

**答** 食材料費については、これまでも実費徴収または保育料の一部として負担していただいているものであり、無償化においてもこの考え方は維持することを基本としている。



## 上下水道

山本 智

### 公明党

**問** 将来にわたる安定した水の供給に向けて、水道技術者の継続的な養成が重要と考える。これまでの取り組みと今後の方策を問う。

**答** これまで、職員OBを水道技術指導員として配置し、ベテラン職員の技術を継承できる環境の構築に努めてきた。今後、近隣市とも連携し、水道技術者の養成に取り組み予定である。また、職員の経験年数に応じた研修を計画的に行っていく。



## 地域振興

石井 啓子

### 公明党

**問** 勝龍寺城は、来年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公と関連深い場所でもある。勝龍寺城公園管理棟の女性トイレは、洋式が1つしかなく混雑等が想像される。この機会にリニューアルが必要と考えるが見解は。

**答** 勝龍寺城公園は、大河ドラマ「麒麟がくる」の歴史観光の発信拠点にふさわしい公園として、再整備を行うが、その中でトイレの洋式化も含めて検討していく。



## 行財政

富田 達也

### 輝(かがやき)

**問** 市長と市民の「対話のわ」について、今期はどのように進めていくのか。また、中高校生などを対象とすれば、シティズンシップ教育にもつながると思うがどうか。

**答** 「対話のわ」は回数を増やすより質を重視して取り組みたい。特に、防災やごみの減量に向けた指定袋制について力を入れていきたい。また、子どもを対象とする対話も、実際要望が出ているため、検討を進めたい。



## 環境

綿谷 正巳

### 輝(かがやき)

**問** 本市では、昨年4月に温室効果ガス排出量の削減を目標としたクール・チョイス宣言を行った。市民への啓発は、具体的にどのようなことをしているのか。

**答** 環境フェア等のイベントで「家庭の省エネ秘伝の書」という冊子を配布し、啓発活動を行っている。また、市からの一方的な啓発では広がりに限界があるため、事業者にも主体的な啓発活動をお願いしている。



## 福祉

大伴 雅章

### 輝(かがやき)

**問** 障がい者基本条例の趣旨に合致した本市の取り組みとして、代表的なものはどのようなものがあるか。

**答** 今年から、あいサポート運動を始めている。また、窓口対応や講演会、イベントの対応などで、各部署でどういった対応をすればいいかという問い合わせもあり、積極的な学びや取り組みが日ごとに膨らんでいる。今後も各部署で取り組みを進めていきたい。



## 地域振興

富岡 浩史

### 平成自由クラブ

**問** 京都府の観光地域づくりの取り組みである「もうひとつの京都」の中に、「竹の里・乙訓」がある。これとリンクした稼ぐ力の今後の展開は。

**答** まずは、観光戦略プランにも掲げている、稼ぐ力の基になる各事業所のプレイヤーとベクトルを合わせていかないといけない。大河ドラマの展開もある中で、プレイヤーの拡大と育成を図りながら、着実な歩みを進めていきたい。



## 行財政

八木 浩

### 平成自由クラブ

**問** 広報長岡京が、量ではなく質の充実を目的として、月1回の発行となる。充実させた情報をどのように市民に発信していくのか。

**答** ホームページやSNSでの情報発信に加え、耳で聞く広報として、FMおとくにを活用したい。また、漫然と情報を出すのではなく、必要な方に必要な情報が伝わるよう、多様化している情報ツールの中から最適なツールを選択し、発信していく。